

第571号 2011年12月18日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか 志村 たかよし です

～ 第4回定例会 ～

放射能対策の充実求める 国への意見書を採択

第4回定例会最終日となる11月30日の本会議で、国に放射能問題への対応を求める二つの「意見書」（下記参照）が全会派一致で採択されました。

この二つの「意見書」は、日本共産党区議団作成の案文をもとに他党との調整をおこなって作成されたものです。

一方、日本共産党区議団が提案した「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）」への参加表明を撤回することを求める意見書については、幹事長会で、みんなの党が「TPP参加は賛成」との理由で反対、他党派からも「今回は見送り」の意思が表明されたためまとまりませんでした。

これからも区民の立場に立った積極的な提案をおこなっていききたいと思っています。



放射性物質の検査体制の確立と適切な情報提供に関する意見書

福島第一原発の事故による農林水産物への放射能汚染は、食品中の放射性物質による子どもたちの低線量内部被ばく、母体を介した胎児や乳児への影響など、様々な不安を区民に抱かせています。

「意見書」は、
①安全な食品が確実に流通し、消費されるよう、市場流通前の食品検査

体制を強化すること。

②福島第一原子力発電所の事故に関する迅速かつ正確な情報提供を徹底するとともに、直接国民が問い合わせできる相談窓口を充実させること。

を国に求めています。



妊産婦と胎児等に対する支援の充実に関する意見書

妊産婦、胎児、乳幼児への放射線の健康影響について、国において正確な情報が示されないなか、様々な不安を抱えて生活している方が中央区にもいます。



「意見書」は、

①妊産婦が、放射線の胎児や母乳への影響その他日常生活の疑問及び不

安について相談し、最新の情報を基に適切なアドバイスを得られる相談体制を確立すること。

②妊産婦、胎児及び乳幼児に対する放射線の健康影響について、より具体的に分かりやすい情報提供を行うこと。

を国に求めています。

明正小学校改築基本計画(案)の「中間まとめ」発表

12月9日の区民文教委員会で、「明正小学校改築基本計画(案)の中間まとめ」が報告されました。

この「中間まとめ」は、明正小改築にあたって、今年の3月18日に設置された「明正小学校改築準備協議会」が、これまで4回協議してきた内容をまとめたものです。

「中間まとめ」の概要

報告によると、校舎は6階建て、北を頂点とするL字型で、これまでの外観に配慮したものになっています。

新川児童館を5、6階に設置し、あわせて、子育て交流サロン「あちやん天国」や幼児室、授乳室、情報交流サロン、相談室を新設す

るとしています。明正幼稚園は1、2階となります。

小学校には放課後の居場所「ブレイ」や通級指導学級(言語障害や難聴など支援を必要とする児童が、在籍している学校から週1回、個別指導のために通う学級)が設置されます。

児童館、小学校、幼稚園への入口はそれぞれ別になります。今までフタ付きで校庭にあったプールは、屋上に設置されます。

体育館は3階で、防災倉庫は、1階(地域用備蓄)と体育館入口(避難所用備蓄)の2ヶ所に配置されます。

埋蔵文化財試掘調査を実施

明正小学校のそばに越前堀児童公園があるように、このあたりは松平越前守の中屋敷があったところです。区が夏に埋蔵物の調査をしたところ、建物の痕跡や江戸時

代の陶磁器など、収納コンテナで10箱分が出土しました。

ひきつづき、発掘調査を来年の8月～11月にかけて行う予定です。

復興小学校の記録保存も

復興小学校としての建物の概要調査、建物仕様の調査、実測調査、記録写真撮影などによる記録保存をおこなうとしています。

「地域主体で作った学校」と

なるよう区はさらに努力を

「改築準備協議会」は、学校、幼稚園、PTA、通学区内の町会長など地域関係者、区職員で構成され、これまで4号の「協議会だより」を発行しています。

「地域主体で作った学校」となるよう、地域の意見・要望をしっかり受け止めて努力することが区と教育委員会に求められています。

【道路側】



【校庭側】



「意見、ご要望など、お気軽に」連絡ください(03-6600-6600)

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索